

## 建物被害予測マップ

建物被害予測マップとは、**千葉市直下地震**（マグニチュード7.3）が発生した場合に、**揺れ・液状化・急傾斜地の崩壊・火災**によって、建物が全壊・焼失する可能性を50mメッシュ単位で表示したものです。

### 地震発生時の避難方法

#### 地震発生

#### 自分の身の安全を確保

※火災の危険が迫ったり、避難勧告等があった場合は、近所の公園や避難場所（・）へ避難する。

自宅に被害がない、または軽微な場合

自宅に被害があり生活できない場合

在宅で避難

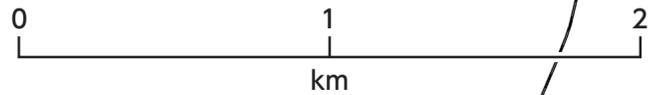
避難所（）に避難

### 凡例

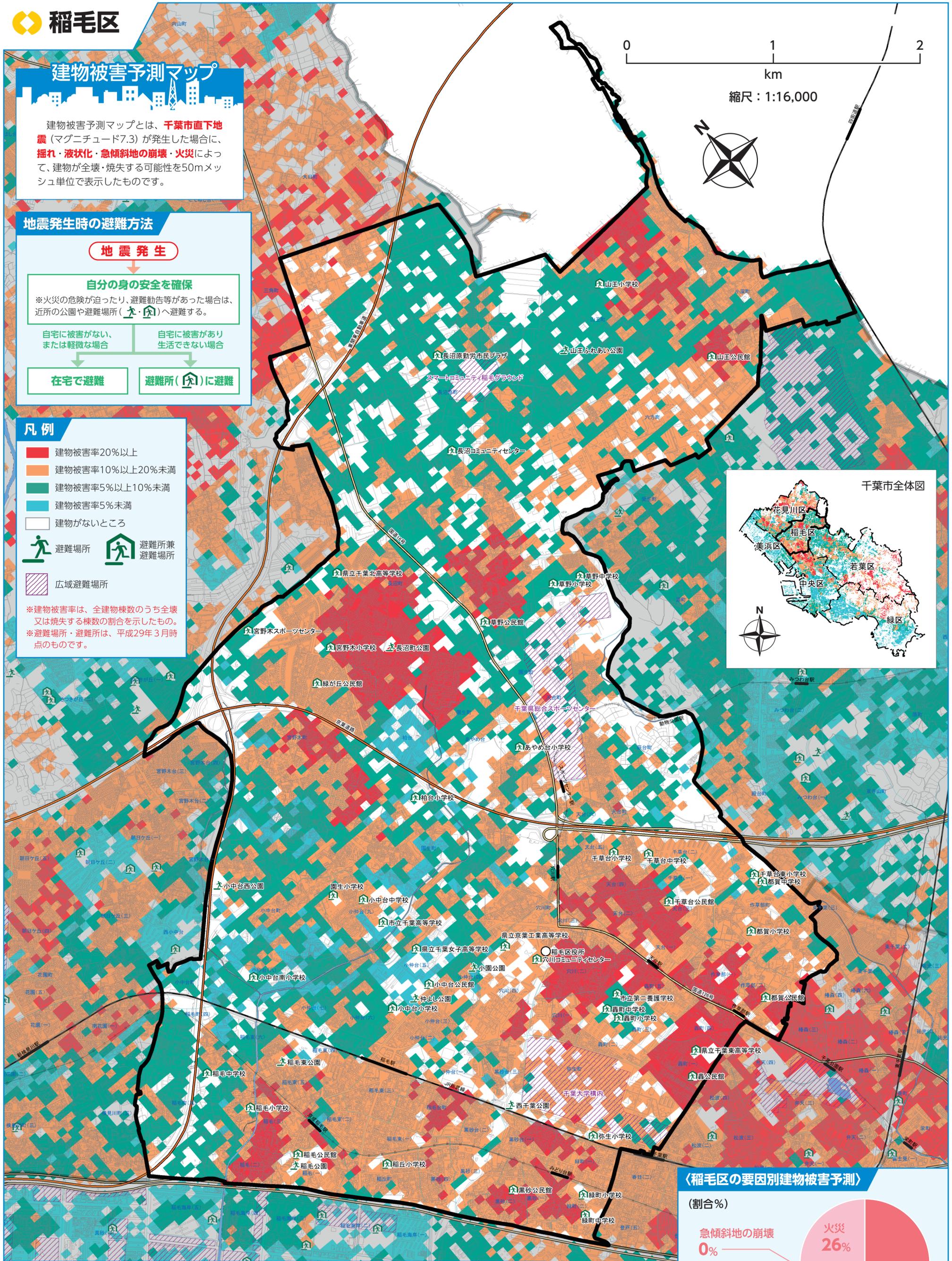
- 建物被害率20%以上
- 建物被害率10%以上20%未満
- 建物被害率5%以上10%未満
- 建物被害率5%未満
- 建物がないところ

-  避難場所
-  避難所兼避難場所
-  広域避難場所

※建物被害率は、全建物棟数のうち全壊又は焼失する棟数の割合を示したものです。  
※避難場所・避難所は、平成29年3月時点のものです。



縮尺：1:16,000

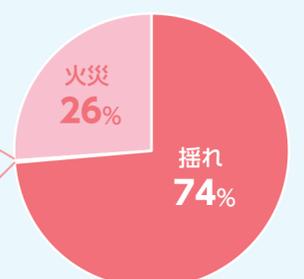


### 〈稲毛区の要因別建物被害予測〉

(割合%)

急傾斜地の崩壊  
0%

液状化  
0.2%



詳しくは（ホームページで検索） [千葉市地震ハザードマップ](#)

### 〈マップの見方・活用法〉

建物被害予測は、建物の構造や建築年代等のデータを基に、50mメッシュ単位で行っています。個々の地点に対するものではないため、地域全体の傾向を把握するためにご活用ください。  
日頃から、地域の危険度や避難所・避難場所の位置を確認するとともに、地震への備えや地震が起こった場合の対応について、地域の方々やご家庭で話し合ってみましょう。